



 SmartDrive **Fleet**

IoTを活用した物流可視化への取り組み

会社概要

概要

会社名 :株式会社スマートドライブ
設立 :2013年 10月
本社所在地 :〒105-0004東京都港区新橋6-19-13WeWork新橋3階
資本金（資本準備金等を含む）：28億4,100万円

事業内容

ハードウェアやアプリケーション、テレマティクスサービス等の開発・提供、およびデータ収集・解析

沿革

- | | |
|----------|--|
| 2013年10月 | 創業 |
| 2015年04月 | アクサ損害保険株式会社とテレマティクス事業業務提携 |
| 2015年05月 | 保険業界向けテレマティクス基盤にインテル社のプラットフォームを採用 |
| 2015年08月 | シリーズAラウンドの第三者割当増資を発表 |
| 2015年12月 | 第3回「CNET Japan Startup Award」にて最優秀賞を受賞 |
| 2016年01月 | アクサ損害保険株式会社との共同プロジェクト「MIRAI DRIVE PROJECT」開始 |
| 2016年12月 | 法人向けクラウド車両管理サービス「SmartDrive Fleet」をリリース |
| 2017年04月 | シリーズBラウンドの第三者割当増資を発表 |
| 2018年04月 | SmartDrive Carsをリリース |
| 2018年08月 | シリーズCラウンドの第三者割当増資を発表 |
| 2018年08月 | SmartDrive Familiesをリリース |
| 2018年11月 | アクサ損害保険株式会社「MIRAI DRIVE PROJECT」における SmartDrive Cars のサービス提供開始 |
| 2019年04月 | 株式会社モノフルによるサービス「トラック簿」に対して、SmartDrive Platform API を提供開始 |

代表者

代表取締役 (CEO) 北川 烈
慶応大学在籍時から国内ベンチャーでインターンを経験し、複数の新規事業立ち上げを経験。その後、1年間米国に留学しエンジニアリングを学んだ後、東京大学大学院に進学し移動体のデータ分析を研究。その中で今後自動車のデータ活用、EV、自動運転技術が今後の移動を大きく変えていくことに感銘を受け、在学中にSmartDriveを創業し代表取締役に就任。

J-Startup

経済産業省が推進するスタートアップ企業の育成支援プログラム「J-Startup」に選出（2018年）

NIKKEI

日本経済新聞社による「NEXTユニコーン調査」で31位にランキング（2018年）

Forbes

Forbes ASIA 「30 Under 30 ASIA」にスマートドライブ代表の北川が選出（2019年）

主要株主

金融投資家



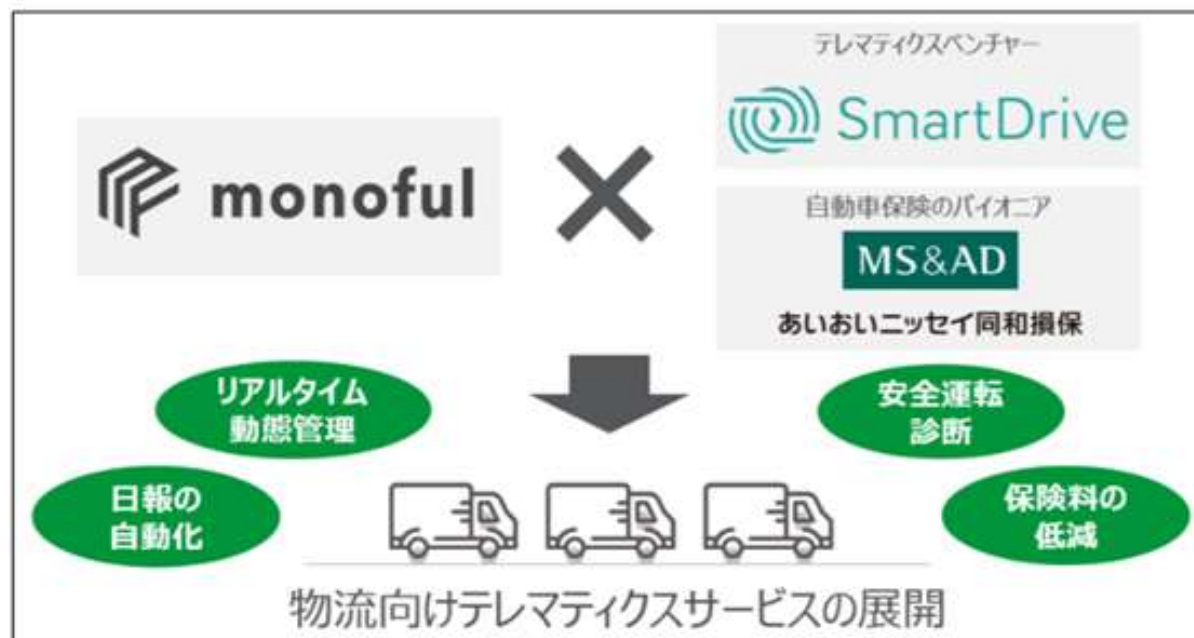
資本業務提携



物流向テレマティクスサービス展開～異業種3社の業務提携～

物流施設大手日本GLPグループの株式会社モノフルと、自動車保険大手あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と業務提携を行い、物流業界に向けたテレマティクスサービスを展開しています。

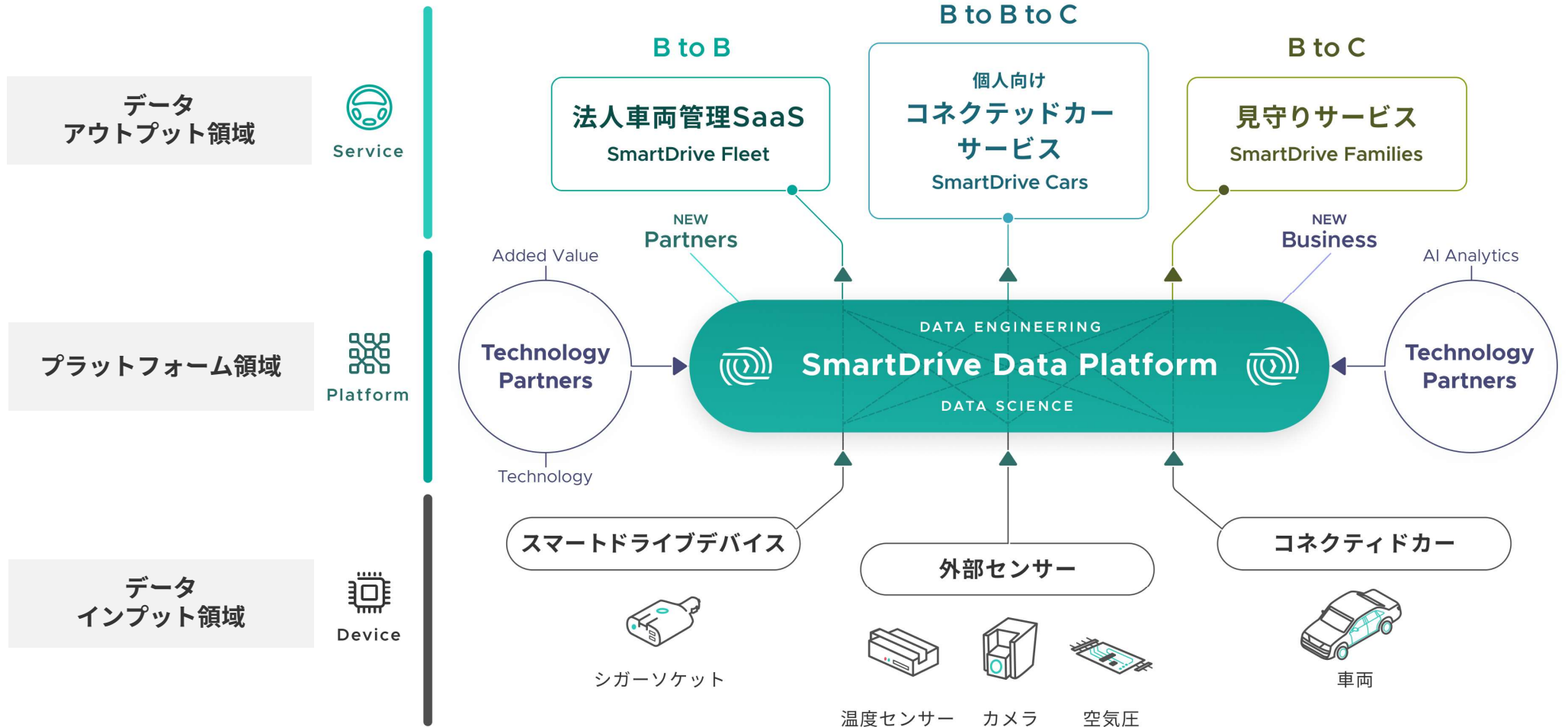
- ※ 株式会社モノフル（日本GLP株式会社グループ）
- ※ あいおいニッセイ同和損害保険株式会社



※出展：モノフル社HP

創業当初より走行データの収集・解析・活用に注力

創業当初より一貫して走行データの収集（インプット）・解析（プラットフォーム）・活用（アウトプット）を主眼としてサービス提供。走行データの利活用で貴社ビジネスをご支援させていただきます。





物流業界におけるテレマティクスサービスの活用

物流業界におけるテレマティクスサービスの活用

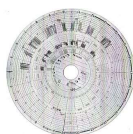
主に活用されているツール

タコグラフ

【主目的】

トラックの運行記録

- ・大型車は法律で設置義務があり普及率が高い。
- ・一方で性能にばらつき。



- ・アナログ
タコグラフ



- ・デジタル
タコグラフ
(SDカード
/通信型)

ドライブレコーダー

【主目的】

事故前後の画像記録

- ・「事故時の画像参照」に特化した性能。
- ・高機能機種は通信機能により動態管理が可能。



- ・ドライブ
レコーダー
(SDカード
/通信型)

スマホアプリ

【主目的】

車両動態の活用

- ・スマートフォンのGPSを活用したアプリ。
- ・動態管理をベースに業務に特化した機能。



- ・スマホ型
GPSアプリ

シガー型テレマ

【主目的】

車両動態の活用

- ・専用デバイスによるGPSアプリケーション。
- ・動態管理や安全運転機能等を搭載。

SmartDrive Fleet



様々なデバイスの活用がなされているが、すべての「物流の可視化」には至っていない。

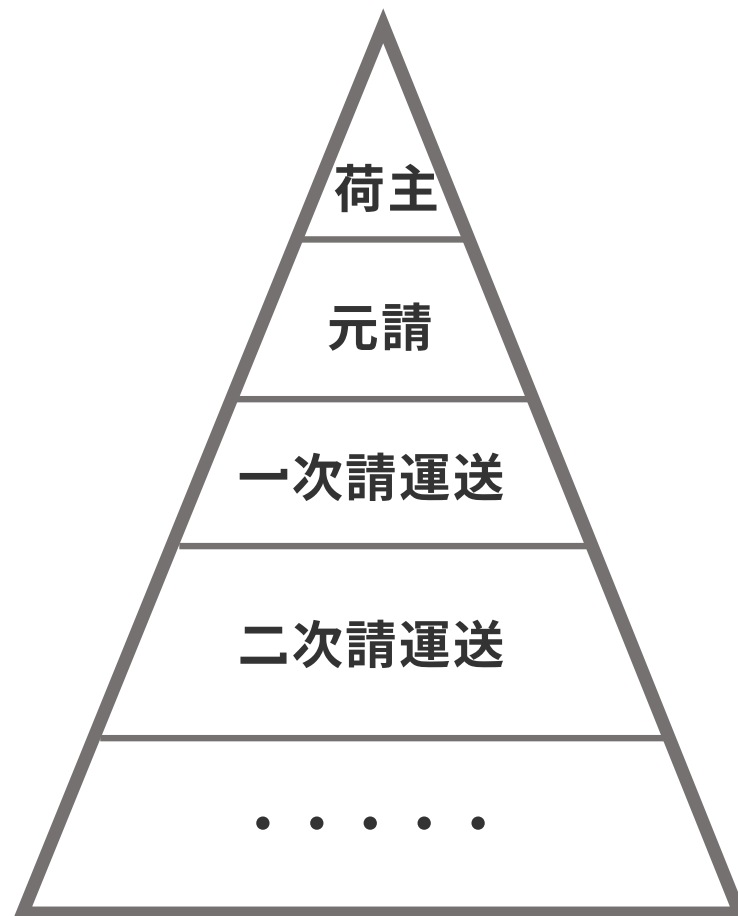
可視化を妨げる「分断」とは

“

運送のピラミッド構造
による分断

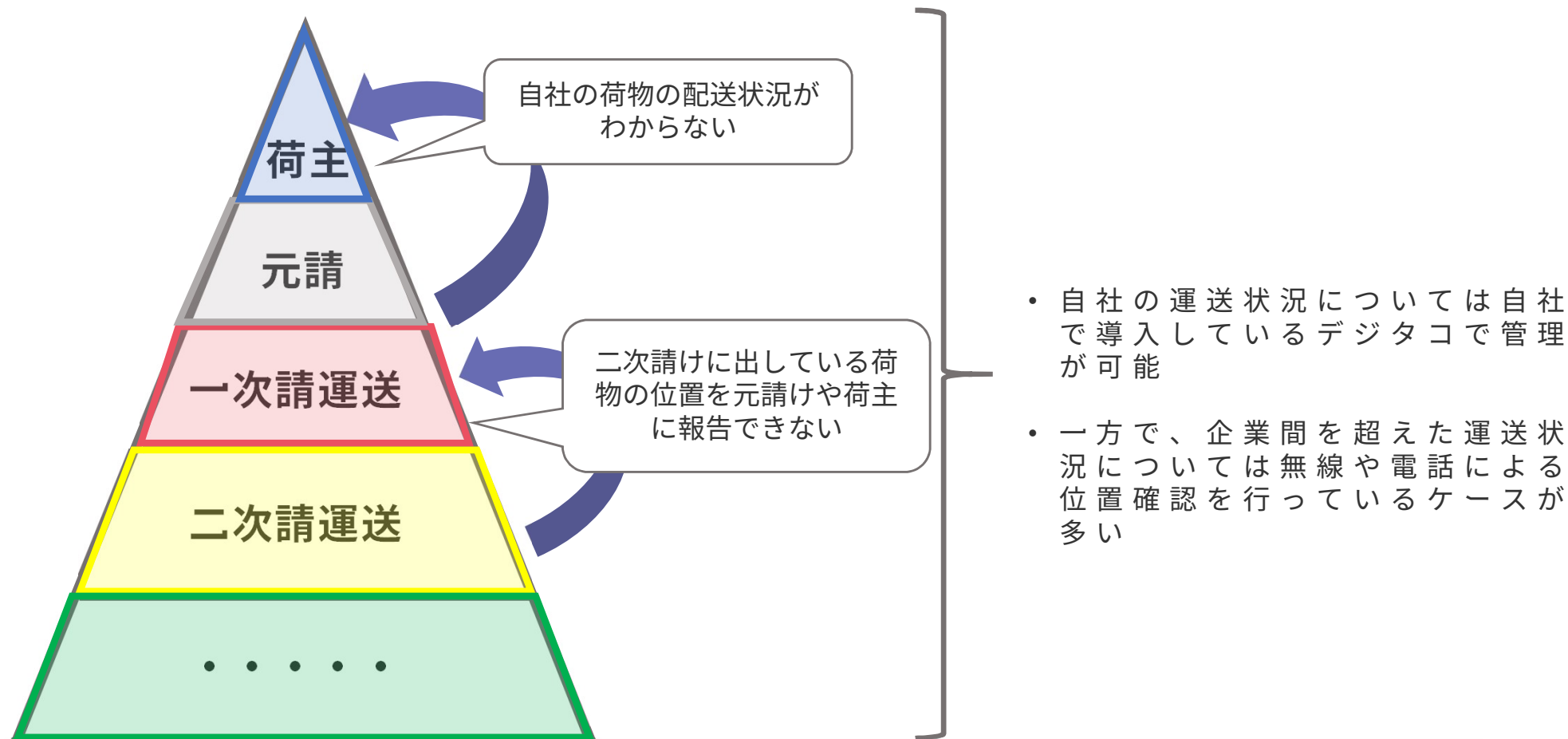
”

一般的な運送業の構造



荷主を筆頭に、元請・一次請・二次請・・・と続く多層構造

物流の可視化への課題



企業物流は1社で完結していないケースが多く、
運送を委託する「協力会社」車両の可視化ができていない



シガー型テレマ「SmartDrive Fleet」を 活用した協力会社車両の可視化

協力会社管理のための課題

① テレマティクスデバイスの課題

② 運送事業者のリテラシーの課題

物流業界におけるテレマティクスサービスの活用

主に活用されているツール

タコグラフ

【主目的】

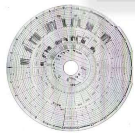
トラ

- ・大型
- ・義務
- ・高い
- ・一方

設置工事が必要
※協力会社車両に設置困難

像記録

参照」
。信機能
が可能。



- ・アナログ
タコグラフ
- ・デジタル
タコグラフ
(SDカード
/通信型)

ドライブレコーダー

【主目的】



- ・ドライブレコーダー
(SDカード
/通信型)

スマホアプリ

【主目的】

**ドライバー
操作が必要**
※要スマホリテラシー



- ・スマホ型
GPSアプリ

シガー型テレマ

【主目的】

車両動態の活用

- ・専用デバイスによる
GPSアプリケーション。
- ・動態管理や安全運転
機能等を搭載。

SmartDrive Fleet



タコグラフ・ドライブレコーダー・スマホアプリでは設置工事の必要性やリテラシーへの課題があり、導入へのハードルが高い

物流業界におけるテレマティクスサービスの活用

主に活用されているツール

タコグラフ

【主目的】 トラックの運行記録

- ・大型車は法律で設置義務があり普及率が高い。
- ・一方で性能にばらつき。



・アナログ
タコグラフ



・デジタル
タコグラフ
(SDカード
/通信型)

ドライブレコーダー

【主目的】 事故前後の画像記録

- ・「事故時の画像参照」に特化した性能。
- ・高機能機種は通信機能により動態管理が可能。



・ドライブレコーダー
(SDカード
/通信型)

スマホアプリ

【主目的】 車両動態の活用

- ・スマートフォンのGPSを活用したアプリ。
- ・動態管理をベースに業務に特化した機能。



・スマホ型
GPSアプリ

シガー型テレマ

【主目的】

設置工事・
操作不要

SmartDrive Fleet



シガー型テレマであれば、設置工事や難しい操作不要で導入が可能

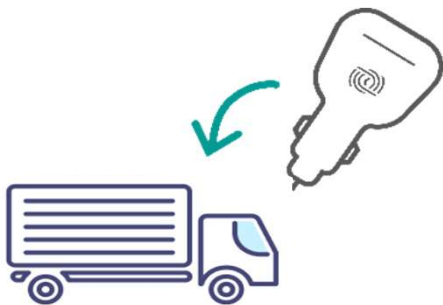
工事不要・3秒でスタート、SmartDrive Fleet

SmartDrive Fleetはタコグラフやドライブレコーダーのように複雑な工事や、スマホアプリのようにドライバーの特別な操作は必要ありません。自社保有車以外にも、リース車、レンタカー、協力会社車両などでも同じようにお使いいただけますので、輸送車両の一元管理が可能です。

STEP 1

工事不要

デバイスを車に差し込みます。



STEP 2

ドライバー操作不要

走り出すと位置と走行データが自動送信されます。



STEP 3

簡単確認

ドライバーはアプリで、管理者はPC上で簡単に確認できます。



豊富な対応車種



活用イメージ①：車両位置の可視化

指定の車・ドライバーの現在地や、指定した住所周辺の車をリアルタイムに検索することができます。集めた情報を活用することで、通信型デジタコ非搭載の軽貨物車両や、協力会社車両等も含めた一元管理が可能です。

The screenshot displays the SmartDrive Fleet application interface. On the left is a navigation menu with options like 'リアルタイム' (Real-time) and '走行履歴' (Driving history). The main area shows a map of Tokyo with a popup window for a vehicle in motion. The popup contains the following information:

- 走行中 (In Motion)
- ユーザー: 桑机 裕助 (User: 桑机 裕助)
- 車両: 大蛇島根お88-88 (Vehicle: 大蛇島根お88-88)
- デバイス: V000015N000013 (Device: V000015N000013)
- この位置をGoogleMapで見る (View this location on Google Map)

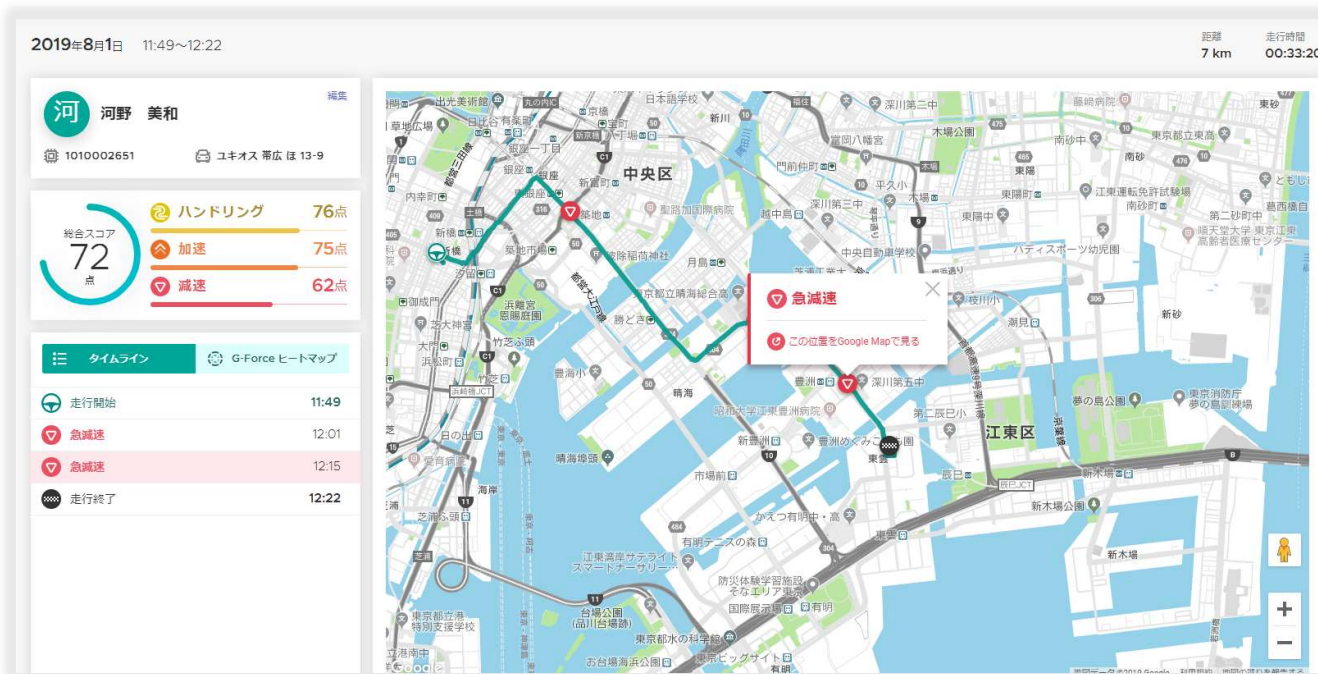
On the right side, there is a summary panel showing '走行中 20台' (20 vehicles in motion) and a list of drivers with their vehicle names. A red box highlights a text overlay on the map:

デバイスをつけた車両がどこを走行中なのかをリアルタイムに表示。
 荷主へのスピーディーな報告や、適正ルートのガイドを行うことが可能となります。

活用イメージ②：輸送品質の向上

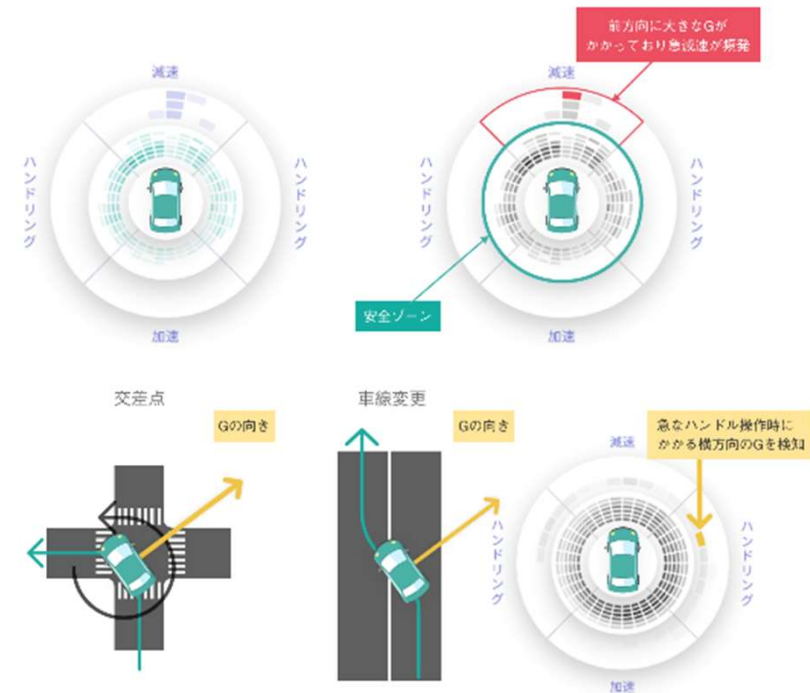
各ドライバーの走行ごとに、①危険運転が発生した場所、②運転スコア、③運転傾向を把握する分布図の3つのデータを可視化。

「急ハンドル」、「急加速」、「急減速」等を減らすことで**事故率の低減に加え、積荷の破損率軽減**にも繋げることが可能です。



ドライブごとの運転結果をスコア化して表示。運転開始から終了までのイベント時間正確なドライブ情報を記録

車にかかるGの向きと大きさを表現し、ドライバーの癖を可視化します。交差点での右左折時や、車線変更等での、急なハンドル操作を検知し記録することが出来ます。



活用イメージ③：着拠点オペレーション効率化

受入拠点への「到着時」や「出発時」にあらかじめ設定したメールアドレスへの通知を行うことで、店舗側の受け入れオペレーションの効率化を実現致します。

リアルタイム動態管理機能

配送状況の可視化



配送中の車両の位置情報をリアルタイムに把握、配送状況の可視化を実現致します。

ジオフェンス通知機能

受入拠点業務効率アップ

SmartDrive Fleet

以下のユーザー(車両)が登録地点に到着しました

ユーザー Dwpアドミンさん
車両 test1
デバイス 010000

地点情報
地名 足立
住所 東京都足立区下田1-9-1-4
緯度 2019/04/18 22:09:30
半径設定 200m

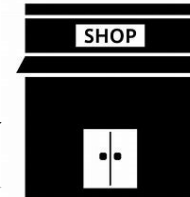
地点情報を見る

※通知内容により、走行ルートは変更される場合があります。
※GPS精度誤差により、正確な位置情報が取得できない場合があります。
※メールや通知内容の変更などは詳細は、サポートサイトをご覧ください。

車両が拠点に到着（出発）した際に担当者等へメール通知。店舗側の受け入れ態勢の円滑化をサポートします。



配送拠点

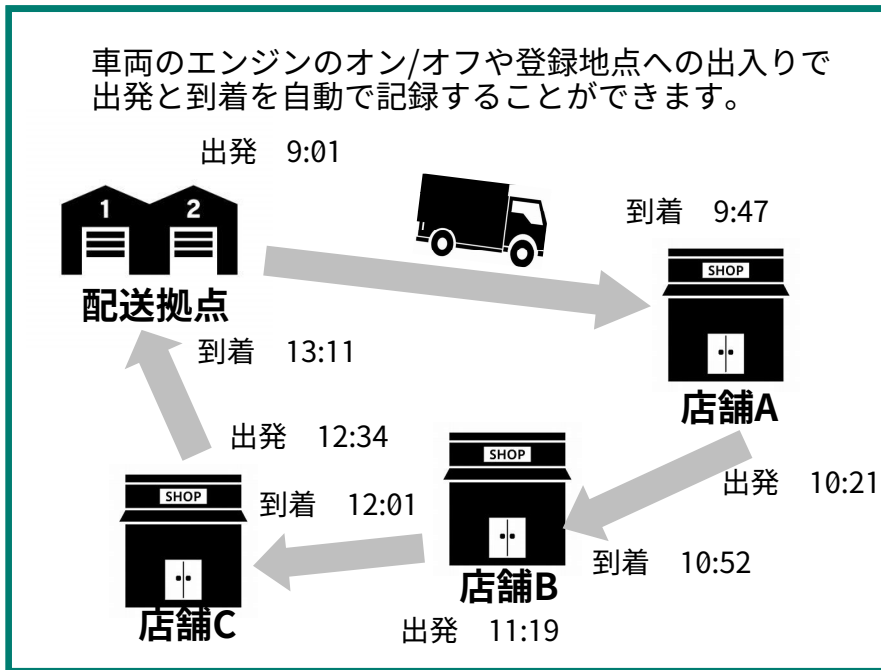


着拠点

活用イメージ④：計画見直しによるコスト削減

各便の店舗への到着時間・出発時間を記録し、CSVレポートとして出力することができます。予実比較を行うことで適切な配送計画を立てられるよう見直しを行ったり、各協力会社車両の余力を発見することで、コスト削減に繋げることが可能となります。

各便の店舗への到着時間・出発時間を記録



CSVレポートとして出力

記録された内容はPCの管理画面で簡単に確認ができ、任意の期間でCSVレポートとして出力することができます。

ユーザーID	ドライバー名	走行開始時刻	走行終了時刻	走行時間	走行距離	走行開始地点住所	走行終了地点住所	行き先	行き先住所	車両名	平均速度	滞在時間(参考)
4196	スマート運送 A	2018/11/19 11:14	2018/11/19 13:36	2:21	36.9	東京都港区芝大門1丁目 2-1	千葉県船橋市菅志野4丁目	店舗A	千葉県船橋市菅志野4丁目	東京001	15.7	0:33
4196	スマート運送 A	2018/11/19 14:09	2018/11/19 14:34	0:24	4.3	千葉県船橋市菅志野4丁目	千葉県船橋市前原東4丁目	店舗B	千葉県船橋市前原東4丁目	東京001	10.8	0:10
4196	スマート運送 A	2018/11/19 14:44	2018/11/19 15:50	1:05	32.2	千葉県船橋市前原東4丁目	東京都港区芝大門1丁目 1	物流センター	東京都港区芝大門1丁目 1	東京001	29.7	xxx
4197	ABC物流 B	2018/11/19 11:16	2018/11/19 12:29	1:13	23.5	東京都港区新橋6丁目 1 9-1 3	千葉県市川市田尻	店舗D	千葉県市川市田尻	東京002	19.3	0:01
4197	ABC物流 B	2018/11/19 12:31	2018/11/19 13:07	0:36	7	千葉県市川市田尻	千葉県船橋市東船橋5丁目	店舗C	千葉県船橋市東船橋5丁目	東京002	11.7	0:17
4197	ABC物流 B	2018/11/19 13:24	2018/11/19 13:36	0:11	6.1	千葉県船橋市東船橋5丁目	千葉県船橋市菅志野4丁目	店舗F	千葉県船橋市菅志野4丁目	東京002	33.3	0:33
4197	ABC物流 B	2018/11/19 14:09	2018/11/19 14:34	0:24	4.3	千葉県船橋市菅志野4丁目	千葉県船橋市前原東4丁目	店舗G	千葉県船橋市前原東4丁目	東京002	10.8	0:10
4197	ABC物流 B	2018/11/19 14:44	2018/11/19 15:08	0:24	14.4	千葉県船橋市前原東4丁目	東京都江戸川区瑞江3丁目	店舗H	東京都江戸川区瑞江3丁目	東京002	36	0:12
4197	ABC物流 B	2018/11/19 15:21	2018/11/19 15:48	0:27	4	東京都中央区築地2丁目	東京都港区芝大門1丁目 1	物流センター	東京都港区芝大門1丁目 1	東京002	8.9	xxx

協力会社管理の成功事例



導入の決め手

面倒な設定一切なし、導入が簡単なシガーソケット型デバイス

「協力会社に導入をお願いするため負担なく取り付けられるものを探していたので、シガーソケットに挿すだけなのが良かったです。」



位置情報の更新頻度が高いリアルタイム画面

「リアルタイム機能の画面が見やすいのが良かったです。デジタコでは位置情報の更新が遅い製品もある中、更新頻度が高くリアルな位置情報が確認できて助かっています。」



走行中



停車中

株式会社デイリートランスポート様

事業内容	一般貨物自動車運送事業・貨物利用運送事業（食品配送・食品仕分け）
従業員数	118名
車両台数	122台
利用業務	配送業務

✓ 導入前のお困りごと

協力会社の車両の運行状況も把握しなかったが、デジタコでは導入費用が数千万円規模となり、リアルタイム性も低いのが課題だった

→自社の車両ではデジタコを導入し運行状況をリアルタイムに把握しており、協力会社の車両についても同じように運行状況を把握しなかった。しかし、自社と同じデジタコ導入となると工事が必須で、導入費用も数千万円と大がかりになってしまうのが課題だった。そして位置情報の確認にあたっては、場合によっては10分以上情報が更新されないなど、リアルタイムな情報が取得できないのも悩みだった。

✓ 導入してよかったこと

クラウド型サービスでリーズナブルに導入でき、専用デバイスもシガーソケットに挿すだけ。お客様からの配送状況のお問合せにも即回答でサービス向上へ。

→協力会社に設置をお願いをする必要がある中で、「シガーソケットに挿すだけ」といったわかりやすさ・簡単さで導入がスムーズに進んだ。また、デジタコと比べてクラウド型で導入費用がリーズナブルな点もポイントとなった。リアルタイム機能では協力会社の車両がどこまで運行しているのかが自社で把握できるので、渋滞に巻き込まれていたり道に迷っていきそうだと早い段階で察知してドライバーと連携を取ったり、お客様からの配送状況のお問合せにも即回答でサービス向上を図れている。

✓ 今後の展望

ベテランドライバーの配送ルートを共有し、より無駄のない効率的な配送を実現していきたい

→まずは一部の協力会社に導入しているが、他の協力会社にも広く展開していきたい。そして、現在はリアルタイム機能を中心に活用しているが、今後は蓄積された走行データを活用し、ベテランドライバーが利用する配送ルートを他のドライバーにも共有することで、より無駄のないルートでの配送を実現しサービス向上につなげていきたい。

まとめ

- 運送の可視化のためには「協力会社」を含めた一元管理が必要
- 既存のデジタコやスマホアプリでは協力会社の管理は困難
- シガー型テレマ等の低コストで容易に活用できる製品であれば「協力会社」の管理が可能

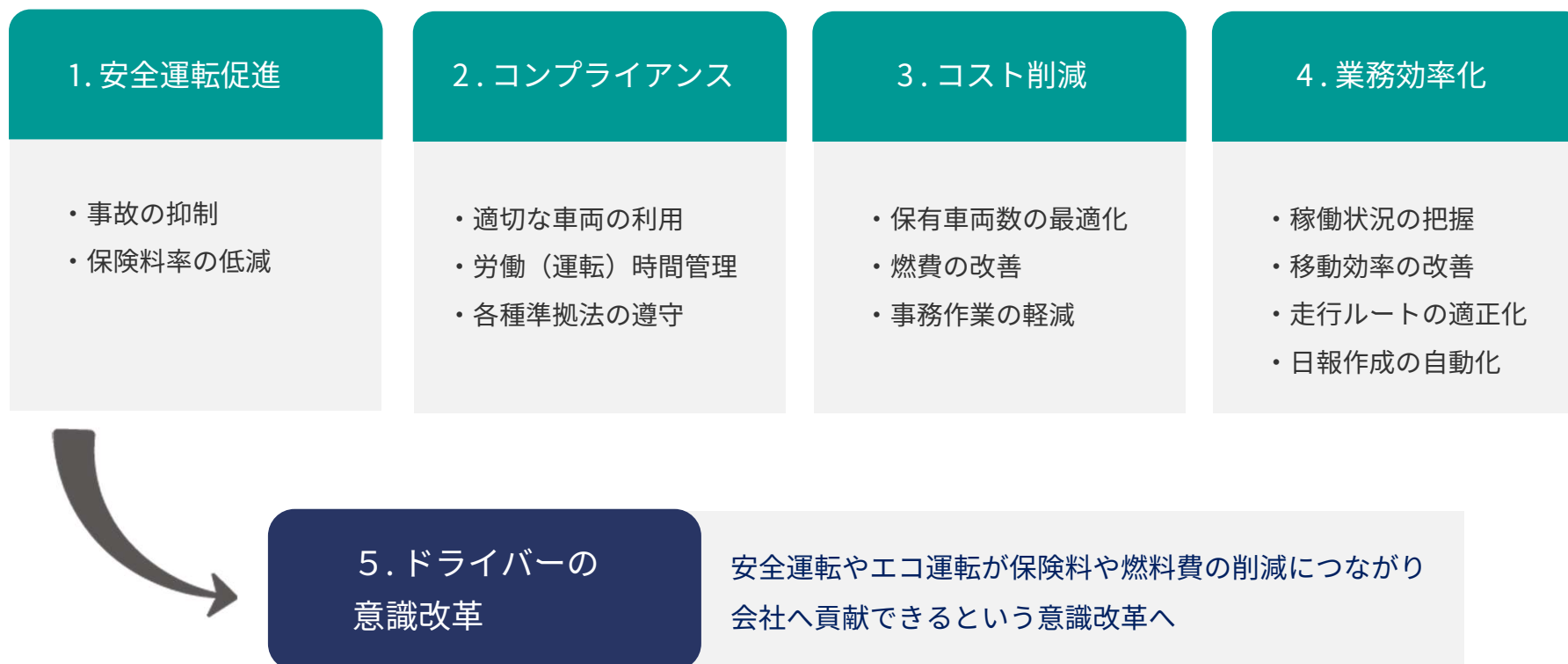


業界を問わない
テレマティクスサービス導入メリット

テレマティクスサービスとは？

テレマティクスとはテレコミュニケーション（通信）＋インフォマティクス（情報工学）からきた言葉で、自動車向けの次世代情報提供サービスです。

携帯電話などの端末を利用し、自動車をインターネットに接続することで受けられるサービスを指します。今まで分からなかった各現場での車両の使われ方が『見える化』され、5つのメリットへと繋がります。



新日本海フェリー

担当者様にインタビュー！

導入の決め手

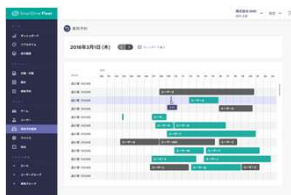
工事不要のカンタン装着デバイス

「現場に負担なく導入できる手軽さが良かったです。」



車両予約機能

「今までは予約システムを利用していなかったので、部門間で社有車の予約・空き状況が一目でわかる便利な機能だと思いました。」



新日本海フェリー株式会社様

業種	運輸業
事業内容	一般自動車・旅客の海上輸送，貨物の海上輸送並びに取扱業， 自動車運送取扱業並びに自動車運送業、観光事業
従業員数	461名
車種	一般車両
利用部門	営業部門

✓ 導入前のお困りごと

● 営業の長時間運転の状況を把握することで、労働時間の見直し・健康管理を図りたかった。

→安全管理をしている中で車両管理がテーマとして上がったのがきっかけ。

● 営業部門では輸送案件でのお客様先訪問の際、東京から群馬や大阪から北陸地方までというような長距離・長時間運転になるケースが多く長時間労働になりがちであったが、車両利用状況の実態を把握できていなかった。

✓ 導入してよかったこと

● ドライバーごとの走行時間・走行距離をすべて可視化し、1人1人の働き方をケアできるように。

→集計機能を活用することで、人単位・車単位での利用状況を可視化。長時間や長距離に及ぶ走行データがあれば、その営業の上長に共有し本人にヒアリングを行う等ケアを実施。従業員が健康に働ける環境づくりを推進している。

✓ 今後の展望

● 営業車両だけでなく、貨物用車両への導入も検討していきたい。

→今どこに車がいるかがわかるリアルタイム機能を活用し、荷物がどこまで運ばれているかの状況把握や、運搬実績の走行データを活用し業務改善に役立てたい。

コスト削減



大手メガバンクA社様

- 従業員数 : 約30,000名
- 拠点数 : 約300拠点
- 車両台数 : 約2,000台
- 車両タイプ : 一般乗用車 (営業)

導入前

- 各支店営業車両がほぼ1人1台割り当てられており、車両コストの負担が大きかった。
- 車両台数削減の検討開始。現状の稼働状況等、削減を検討する上でのエビデンスや客観的データが不足しており、検討を進めるのが難しかった。



導入後

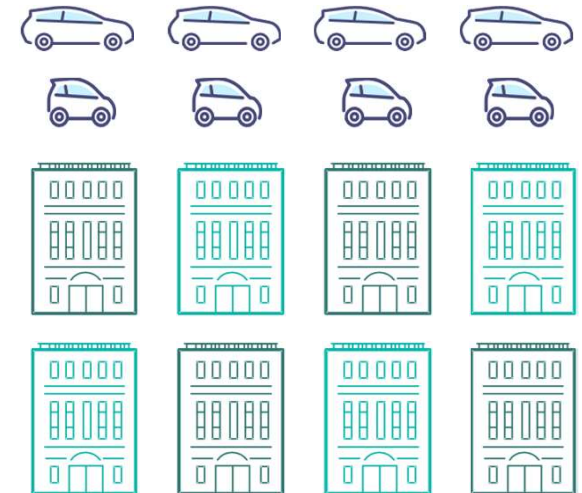
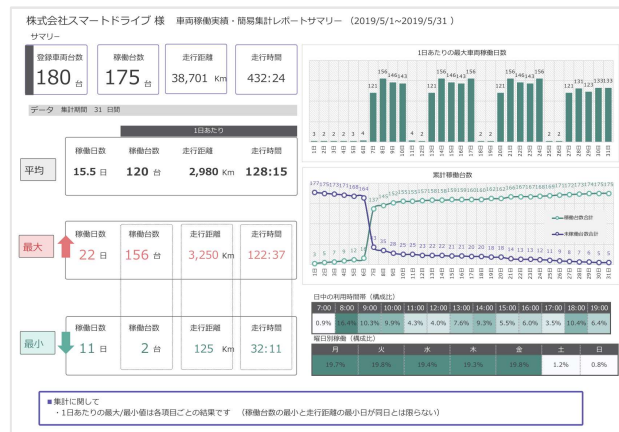
1. 拠点毎に稼働率をチェック
2. 最適な車両配置時と現状を比較 (コスト削減額を明示)
3. 最適な車両配置時の不足台数の確認 (カーシェア・レンタカーの必要台数を算出)
4. 削減する候補車両の確認 (リースアップ順での削減を想定)



効果 (最終効果検証前)

- 90%の拠点をチェックした結果、未稼働の車両がある拠点が全体の20%超と判明。

※削減でのインパクト参考値：リース料金月約40,000円/台、保険料月保険料8,000円/台、駐車場代月駐車場代8,800円/台



業務効率化



株式会社 **ハートリー**



担当者様にインタビュー！

導入の決め手

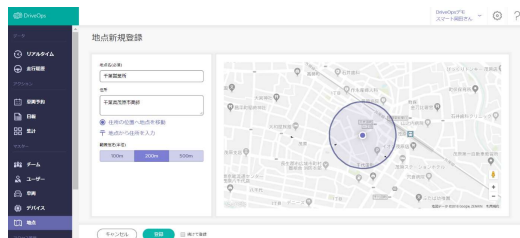
工事なし・1台から導入可能

「スモールスタートで始めたいと思っていた中、工事不要で1台から導入できるのがよかったです。」



訪問先を自動で記録、地点登録機能

「営業先の位置情報を登録し訪問すると日報の行き先に自動で反映される地点登録機能を活用することで、訪問先と活動時間の可視化に役立っています。」



株式会社ハートリー様

業種	卸売業
事業内容	全国専門店への菓子販売
従業員数	40名
車種	一般車両
利用業務	営業部門 配送部門

導入前のお困りごと

働き方改革の中、時間あたりの生産性を高め、限られた時間の中で最大限の成果を発揮できる組織づくりをしたかった。

→菓子の卸売販売を行っており、社用車は量販店や卸問屋への営業活動や商品配送の際に利用。

働き方改革を推進している中で、今までと同じことをするのではなく限られた時間でいかに生産性を高められるかがテーマとなっていた。特に、営業活動での「商談時間」「移動時間」「その他の時間」等、売り上げにつながる活動をどれだけ創出できているかや他の時間にどれだけ費やしているかを可視化することで、改善のヒントを得たかった。

導入してよかったこと

営業日報×走行データで、無駄な時間の削減と内容の濃い営業活動を実現し残業時間50%削減へ。

→これまでは営業自身が訪問結果を記録する営業日報のみ活用していたが、導入後は1日の走行をまとめた走行データの日報と一緒に活用しながら営業活動の中身を精査。訪問先の滞在時間の可視化で上長は部下が何にどれくらい時間を使っているかを把握した上で、よりよい時間の使い方や効率化ができる部分についてアドバイスをし日々改善を実施。無駄な時間の削減と内容の濃い営業活動により、残業時間の50%削減を実現。配送用車両については、1日の配送ルートの可視化でルートの見直しと最適化を図り、緊急の配送依頼があった際にはリアルタイム動態管理機能で付近にいるドライバーと連携を取っての対応が可能となった。

今後の展望

更なる生産性の向上とビジネス拡大へ。

→今後も継続的に1日の時間の使い方をモニタリングしながら、課題の発見→改善を繰り返すことで生産性の向上とビジネス拡大につなげていきたい。



GPSリアルタイム 動態管理機能

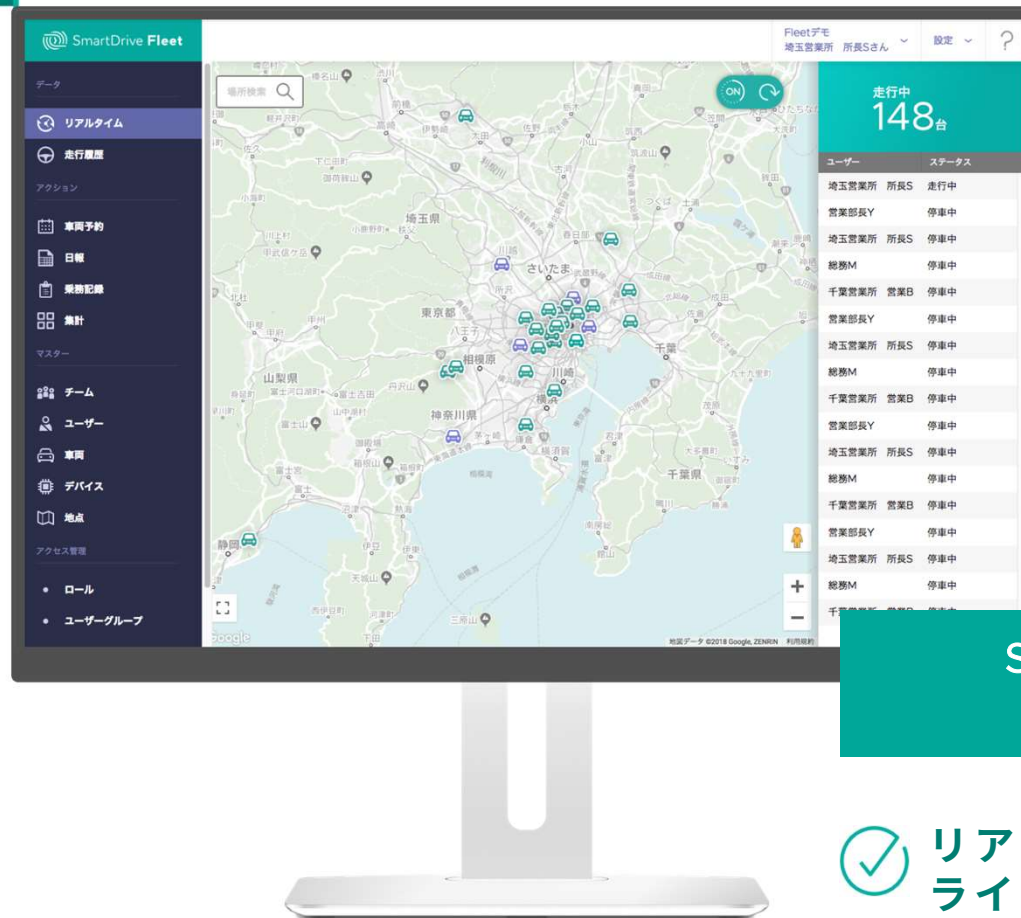
リアルタイムに位置を把握し指示を出したい

車両位置確認

社用車の位置情報を正確に把握して業務をサポート、ピンポイントで指示・連絡が可能。

住所検索

指定の車・ドライバーの現在地や、指定した住所周辺の車をリアルタイムに検索。



SmartDrive Fleetを
導入すると…?

✔ リアルタイムGPS動態管理で ライバルに差をつける

- 迅速なサービス提供や配送の指示に活用
- 動態管理の導入が他社との差別化やセールスポイントに



GPSリアルタイム 動態管理機能

スマートフォンでも！
リアルタイムに位置を把握し指示を出したい

PC管理画面だけでなく、お持ちのスマートフォンに専用アプリをダウンロード頂くことで、外出先からでもリアルタイム動態管理機能がご利用いただけます。

こんなお客様におすすめです

例えば営業,メンテナンス,配送担当者様の場合・・・

- 業務の応援依頼やお客様の緊急対応を他のメンバーにお願いするにあたり、付近にいるメンバーを確認したい

例えば管理者様の場合・・・

- 外出でPCを利用できないことが多く、スマートフォンから自社で管理する車両の利用状況を確認したい

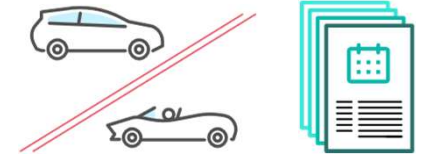
スマートフォンでの車両位置情報把握



スマートフォンですべての車の
リアルタイム位置情報を把握



その場でドライバーに
電話やSMSで緊急連絡



日報・集計機能

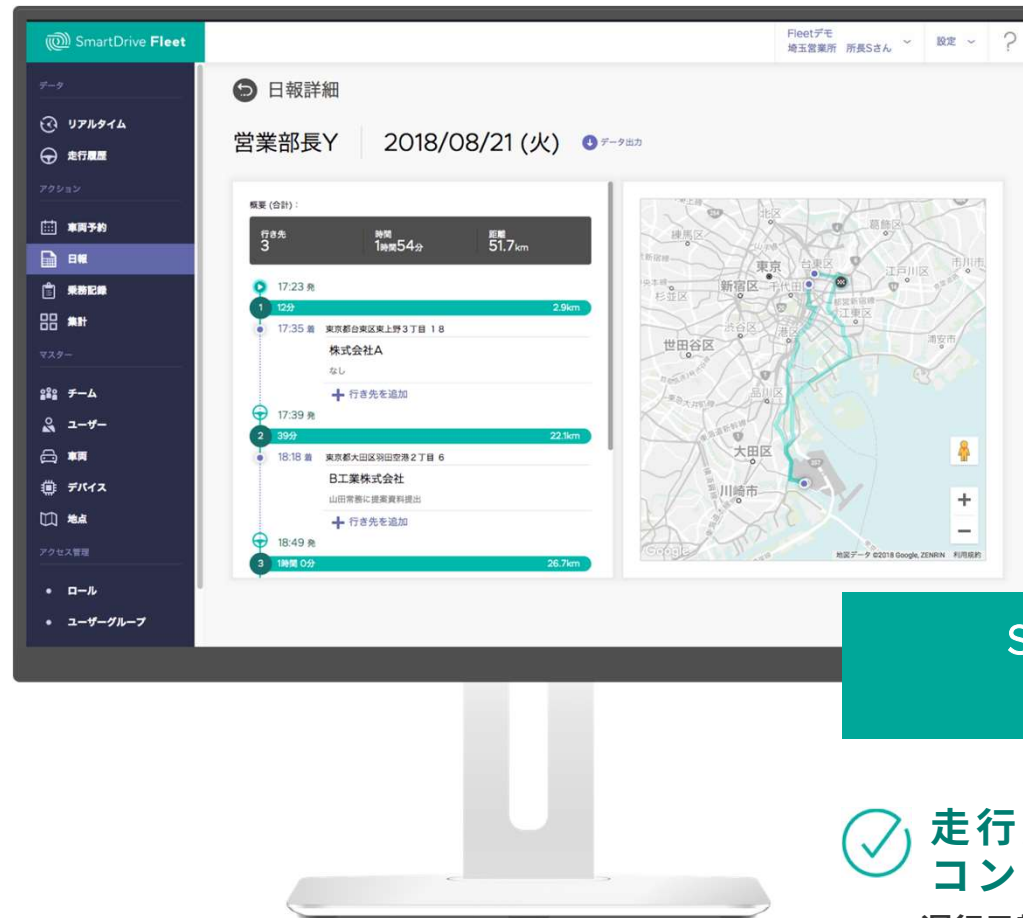
長時間労働・私的利用などを可視化したい
日報の管理が煩雑

日報機能

走行距離,時間,距離をはじめとする
1日の走行データの確認ができ、日
報形式のExcelファイルで出力可。

集計機能

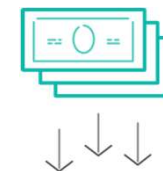
集計機能では全ドライバーの月
次・日次あたりの走行時間・走行
距離や危険運転回数の集計が可能。



SmartDrive Fleetを
導入すると…?

✓ 走行履歴と日報の記録で コンプライアンス強化

- 運行日報を自動で記録&ペーパーレス化
- 社員の日報や勤怠に活用
- 訪問件数や運行ルートの改善
- 業務量を把握し、働き方改革をサポート

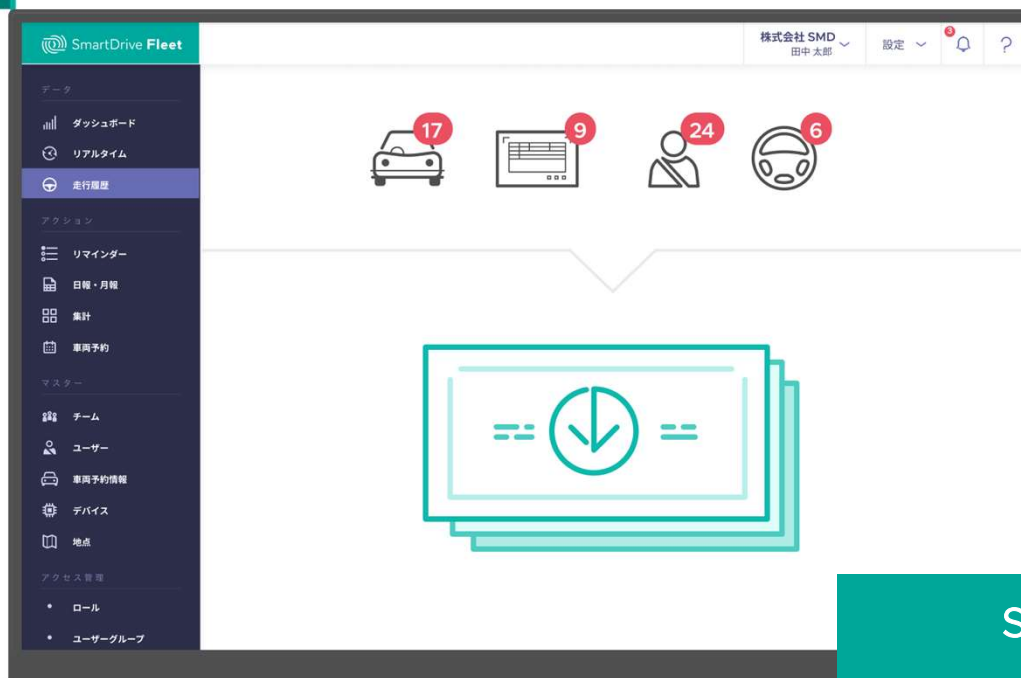


動産管理機能 走行データ分析

車にかかるコストを削減したいけど難しい

動産管理&リマインダー機能

車検・保有形態・保管場所・整備記録・保険情報・免許証情報を記録。リマインダー機能では、任意で設定したタイミングで免許証や車検、リース等の更新期限をお知らせ。(メールでの通知機能も開発中)



分析レポート

走行データを元に、

- 稼働状況レポート
- 安全運転診断結果レポート
- 働き方改革レポート
- 物流事業者向け荷待ち時間レポート等、詳細な分析レポートをご提案。

SmartDrive Fleetを
導入すると…?

✓ 車両にまつわる情報の見える化でコスト削減へ

- 車検や保険、異なるリース会社の情報等、車両情報を一元管理で管理の手間を削減
- 稼働率が低い車両を減車対象に
- 燃費効率が悪い車両や運転者を指導し燃費改善

その他の機能 ～ジオフェンス通知機能～

あらかじめ登録した場所に車両が到着（出発）した際に、任意のユーザーにメール通知をすることができます。電話でドライバーに現在の位置情報の確認を取る必要がなくなり、業務効率化を図れます。

こんなお客様におすすめです

例えば小売業様の場合

- 配送トラックが店舗に到着するタイミングで受入れ準備をしたい

例えば運送業様の場合

- 指定の場所への配送・巡回状況を把握し、遅れや漏れがないか確認したい

例えばサービス業様（ホテル・旅館等）の場合

- お客様送迎車の到着タイミングでお出迎え準備をしたい

指定エリア到着/出発時のメール通知

車両が登録場所（地点）から指定した範囲に到着（出発）した際に、任意のユーザーへメール通知いたします。

範囲指定：
半径100m以上～100kmの任意の範囲で指定可能



以下のユーザー(車両)が登録地点に到着しました

ユーザー	首都圏担当 ドライバーA
車両	test1
デバイス	010009

地点情報

地点名	ABCスーパーマーケット 新橋店
住所	東京都港区芝1丁目15-14
時間	2019/04/18 22:09:30
範囲指定	200 m

[地点情報を見る](#)

※通信状況により、走行データは更新される場合があります。
※GPSの誤差により、判定結果が実際の走行状況と異なる場合があります。
※本メールや通知条件の変更など詳細は、サポートサイトをご覧ください。



配送拠点

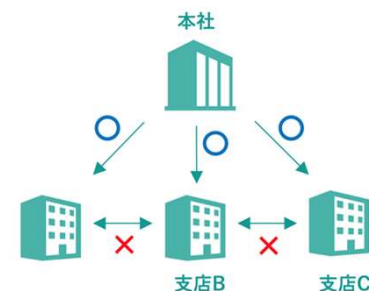


店舗・倉庫

その他の機能

権限設定機能

例えば、本社の管理者はすべての情報の閲覧・追加・更新はできるが、支店のメンバーは自分の所属している支店の情報の閲覧しかできない・・・というように組織の規模や形態に応じ、アクセス権限を柔軟にカスタマイズすることができます。



車両予約機能

あらかじめ登録された車両の空き時間を指定して予約が可能になります。

これにより、今まで手書き台帳で管理されていた車両予約業務の効率化が図れます。

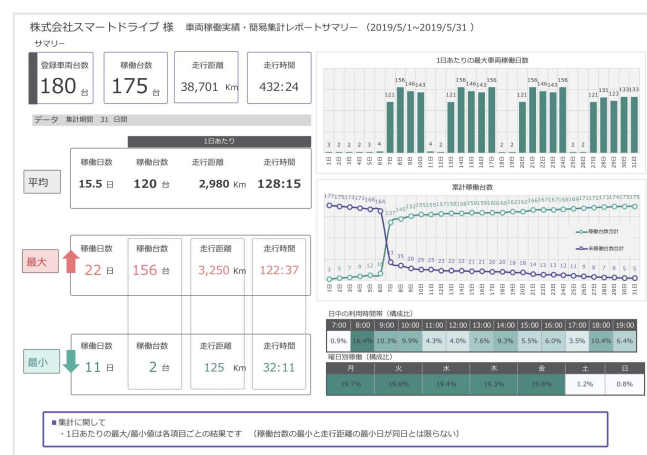
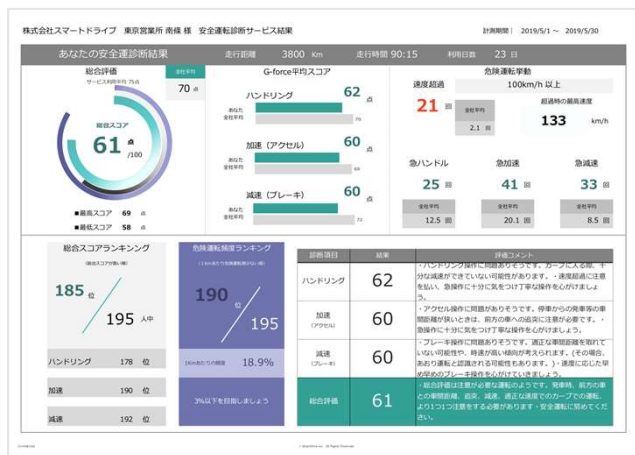
地点登録機能

よく訪問する営業先や得意先の位置情報を登録することで、走行終了地点と位置情報を照合し、日報データに自動で登録場所を反映することができます。

有償オプションメニュー ～分析レポートサービス～

蓄積された走行データを元に分析レポートをご提出させていただきます。レポートではドライバー個人の運転傾向や改善ポイントまでを可視化し安全運転推進のためのツールとしてご活用頂ける安全運転レポートや、個人毎の稼働時間を可視化する働き方改革レポート等をご用意しております。

レポート一例



安全運転診断レポート

→ドライバー本人へフィードバックできるレポートとしてご活用頂けます。自分の運転のどこがよく、悪いのかの気づきを与えます。

車両稼働実績レポート

→どの時間帯に最大(最小)何台が稼働しているかを可視化します。不要な車両をあぶりだしコスト削減につなげることができます。

働き方改革レポート

→個人の1日の最終走行時間を可視化することで、夜間・休日走行等、長時間や私的利用が予想される個人をあぶり出します。

本資料でご紹介内容はサービスの一部となります。

- ④ サービスについて詳しく知りたい
- ④ デモ画面を実際に見たい
- ④ 導入を視野にトライアルを実施したい

などご要望ございましたら下記までお問い合わせください。

E-mail : info@smartdrive.co.jp

TEL : 03-6712-9397 <平日10-18時>